

越山若水

2021.9.4

「翺雲ひとに告ぐべきことならず」。俳人加藤楸邨は心の内なる思いは人に語るべきでないという。直弟子の石寒太さんは、秋空の広がりから内面の心情に展開し

た名句と解説する▼思いを誰にも語らずにいたのか、あるいは本当に急に決めたか。菅義偉首相が自民党総裁選不出馬を表明した。コロナ対策に専念したい、というのが表向き理由である。感染拡大は政府の責任ばかりではないにせよ、国民の不満の高まりについては追込まれた形だ▼最近の首相の動きは、頭にあるのが選挙だけなのではと気になっていた。9月の衆院解散見送りはコロナ禍の政治空白を避ける建前のはずが一時は総裁選前に党役員人事をやると言い、コロナ関係閣僚の名も上がっていた。内閣が党人事のあおりを受けかねなかった▼そして首相の突然の辞意とぎては自民党はじめ政界は選挙一色、心ここにあらずとなる。首相の思惑はどうあれ、大きな政治空白がこれから衆院選まで続くだろう。その間もコロナ第5波の重症者対策、アフガニスタンからの退避問題と、重い政治課題がのしかかる▼「国民から見ても『当たり前』が一番強い」とは首相の言葉(菅義偉とメディア)。世間が「おかしい」「不要」と思っことは改革を、との趣旨だった。国民と首相の「当たり前」がいつの間にか、ずれていた。首相はそれに気づいているだろうか。